

# 校長室より

第55号

# 山笑う

## 俳句における春の季語

春になると木々が芽吹き、山が全体が明るくなる様子をいいます。

春になると動植物の多くが一齐に活動し始めます。今まで暗く静まりかえっていた森や林や花が飛び交う鳥たちで満たされ、華やかな雰囲気になります。

春は、人間にとっても変化の季節です。転勤や卒業、入学など環境も人も変わります。別れと新しい出会いがあることでしょう。

慣れない環境は、人に過度の緊張をもたらします。

# IT化

先日の新聞にランドセル商戦の記事があった。

「共稼ぎ世帯の増加で学童保育を利用して遅い時間の下校する児童が増えているため、安全性を高める

めるために、ライトに反射する機能を強化し、保護者の声に応えた。」とのこと。こんなところにも時代の変化が出てきている。

またその記事には、タブレット端末の収納できるモデルがあると続いている。4月からプログラ

す。そうしたときには、笑顔が大切です。

山々の木々が少しずつ新芽を芽吹かせるように、明るく朝のあいさつから始めてみましょう。

そして、咲き出した花



## 福沢諭吉の10の教え

慶応大学創始者の福沢諭吉が身につけるべき10の教えを説いています。

- ① 独立せよ
- ② アリになるな

ミング教育の必修化を受けてのことだろうが、学校に教科書やノート、筆記用具に加えて「タブレット端末」が加わったことに少々衝撃を受けた。

今教育が大きく変わりはじめていることを目の当たりにした記事であった。

## これは何？

「プリン」と言えば、卵と牛乳が主原料であるが、最近これらを使わない「プリン」が発売された。

卵や乳製品のアレルギーを持つ人のために開発されたそうである。早速食べてみると、少し豆乳の香りがする以外は、原料が全て植物由来とは解らない。ぷるんとした食感もそのまま。

とてもおいしいのだが、果たして「プリン」と呼んでよいのだろうか？まあおいしいければいいか……。

を愛でたり、青空に向かって背伸びをして、深呼吸してはどうでしょうか。

- ③ まずやれ
- ④ 実学が大事
- ⑤ 知識を生かせ
- ⑥ お金に支配されるな
- ⑦ 交流・議論せよ
- ⑧ うらみは最悪だ
- ⑨ 見た目は活発に
- ⑩ 人望を高めよ
- ① 人に頼らない
- ② 衣食住で満足しない
- ③ やってみることが大事
- ④ 役に立つことを学べ
- ⑤ 学んだことを生かせ
- ⑥ お金に振り回されない
- ⑦ 意見を言え

- ⑧ 人間にとって最も害のあるのが恨みである
  - ⑨ 見た目は、心と体の動きを表している
  - ⑩ 努力してこれを求めよ
- 現代にも通じることがいわれています。ぜひこれらを身につけたいものです。

## 編集後記

「これにて一件落着」という決めゼリふがあるが、解決して終わりではない。解決までのプロセスや検討、反省などを経て「要因」を探ることが大切なのだ。こうしたことが次の「成功」を生む。次も「一件落着」と行きたいものだ。